

事務事業名	地域包括支援センター委託事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	高齢者福祉G	課長名	熱田小百合	
	施策名	〈21〉高齢者福祉の充実		担当者名	岡田洋実		電話番号	40-1042 (内線) 2151
	目的対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。				
	基本事業	〈060〉地域ケア体制の充実		予算科目	0:1:15:0:9	大事業名	包括的支援事業	
目的対象	65歳以上の市民	意図	住み慣れた地域で安心して暮らす。				中事業名	地域包括支援センター委託事業
				0:5:6:7:0:1	中事業名			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
高齢者	心身の健康が保持でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう必要な支援を受けることができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( R元 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	包括的支援事業(地域包括支援センターの設置運営)を委託し、高齢者の総合相談やケア会議等を通じ地域課題の把握や関係機関とのネットワーク構築、雲南市と共に地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) ・雲南市社会福祉協議会に包括的支援事業(地域包括支援センターの設置運営)を委託 ・雲南市地域包括支援センター・雲南市連絡会開催	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) H18年度から30年度まで市直営で地域包括支援センターを設置運営。R元年度から地域包括支援センターの必須業務のみを雲南市社協に委託。委託後の2年間市から保健師2名を派遣、R3年度からは事務所を雲南市社会福祉協議会に移転することにより、委託先の特性や強みを生かした事業運営ができるようになった。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 介護認定を受けていない高齢者の割合	%	80.9	80.6	80.8	80.8
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
委託料48,659千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	45,873	48,303	48,659	51,529
		一般財源	千円				
事業費計		千円		45,873	48,303	48,659	51,529

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	心身の健康が保持でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう必要な支援を受けることができる。
② 事業実施するうえでの課題	地域包括支援センターの設置運営は介護保険法に基づくものであり、長期的安定的に事業運営をする上で業務委託が適切と判断しR元年度から始めた事業である。行政と共に地域包括ケアの推進に向け協働ができるよう地域包括支援センターの機能強化を図ることが必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	雲南市地域包括支援センター・雲南市連絡会を開催し、介護保険事業所、地域自主組織をはじめとする社会資源等のネットワークを強化する。